



# 夢の本棚

発行所：松居直コレクション  
プロジェクト  
代 表：金戸 美紀子  
事務局：石川県小松市  
小馬出町10-3  
空とこども絵本館  
☎ 0761-23-0033  
bookrin@city.komatsu.lg.jp

【活動方針】 ①絵本の楽しさを伝える 〈親子読書の奨励〉 ②絵本の歴史を学び、進むべき方向を考える 〈絵本文化の研究〉  
③市が所有する知的財産として、次世代に正しく伝える 〈絵本文化の継承〉

『子どものとも』に込めた思い⑧  
日本の文化と伝統を次世代に伝えたい

## 岩波の子どもの本

◆一九五三（昭和28）  
年12月に岩波書店が『岩波の子どもの本』



『岩波の子どもの本』シリーズ  
絵本

を出した。私は、特にこの本を本屋さんに行ったらときにびっくりしました◆私はまだその時に本を作ろうという考えはなかったんですけど、絵本についてはずっと子どもの時から興味がありましたから、外国ではこんな本を出してんのかと思ったんです◆まさに、物語絵本なんです。こういう物語絵本で、日本で全然見ないじゃない。アメリカにしるヨーロッパにしろ、この岩波が出された本、いろいろ見ると、ほんとにすごい物語、それに、たいへんしっかりとした

挿絵がついているんですね。

## めくって絵が変わる

◆長男が満1歳ちよつとの頃でしたか、私に家に置いておいたら、その子が手に取って開いているんですね。私は、こんな小さな子どもが、本に興味があるのかとびっくりしました◆で、最後まで見て閉じるんですね。でも開くんですよ。字が読めるはずはないし、でもページをめくると絵が変わりますでしょ、めくるとまた変わる。その絵が変わるってことも気が付いたらしい。

## アニメーションの違い

◆手を使うってことは、人間にとってのもので、大切なこと。そこが絵本とアニメーションの違いですよ。アニメーションは手を

高畑 勲著



『12世紀のアニメーション』徳間書店刊

使わないですよ。ずーっと流れていくんです◆ところが、絵本は手を使って見るからゆっくりに見ることもできるし、早くめくめることもできるし、立ち止まることもできるし、元へ戻って見ることもできる。これは、アニメーションというものと本の文化の徹底的に違うしるしです。

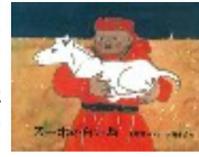
## ルーツは絵巻物

◆そのことが一番よくわかってらっしゃるのが、スタジオリブリの宮崎 駿さんと高畑 勲さんです。特に、高畑さんは、日本の絵で物語を書く方の伝統っていうのは、この人が徳間書店で出してらっしゃる『12世紀のアニメーション』という素晴らしい本がありますけれど、

## 私の絵本の編集方針

◆私が絵本を編集して一つの理由は、編集方針は、日本のそういった文化を次の世代に伝えたい。外国の真似をしたって構いません。

ども、あれは国宝絵巻の徹底的な分析研究です◆あれだけ絵巻物を日本の伝統的な絵で物語を語ってっていうのを調べていらっしゃる。スタジオリブリのアニメーションのルーツってのは、まさに日本の絵巻物です◆ですから、海外の人が見たときにびっくりするんです。どうしてこういう手法で表現できるのかと。独特の文化と伝統が日本にはあるんじゃないかと感じるわけですね。確かに、独特のあれは、ヨーロッパやアメリカの人には真似のできない表現の仕方をしてらっしゃるんです。日本には、そういうほんとに豊かな文化があるんです。



『スノーホの白い馬』

しかし、真似は真似です◆日本には、オリジナルなものがある、そのオリジナルなものを次の世代に伝えたい。そのために、赤羽末吉先生なんかにお願ひして、絵本をかいていただいているんですね。『スノーホの白い馬』なんか、絵巻の手法が見事に活かされてる。『だいくと おにろく』もそうです◆私も絵巻が少年時代から好きで、ほとんど日本の絵巻は見てましたから、赤羽先生とお話をして、この絵巻の手法を絵本として子どもたちに伝えたい。そのためには、物語をどう選ぶかっていうこともありますし、私は満1歳の子どもがこれを見てるのを見て、子どもが絵本というものに対して関心を持てるんだなあということを思いました。(つづく)